

ごみを減らすには

町内3つの小学校でごみ学習会

ごみ学習会を6月28日(金)に武田小学校4年生、7月3日(水)、10日(水)に小泊小学校4年生、11日(木)に薄市小学校が行いました。

児童たちは中泊町最終処分場、西部クリーンセンター、各地区のストックヤードの3か所を回り、ゴミが処分されるまでの工程を学びました。

小泊小学校の児童たちはリサイクルしたものは何に生まれ変わるのか、食品ロスを減らすにはどんなことができるかを学びました。

児童たちは、「ごみの分別やりサイクルをしっかりと行いたい」と話しました。



いつまでも生涯現役で活躍

生涯現役いきいき事業が開催される



高年齢者の雇用創出と、社会参加などを促すことで、人口減少に伴う労働力不足の解消を図るため、中泊町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会が6月28日(金)に腰や身体への負担を軽減するサポートジャケット体験会、29日(土)に草刈り機取扱作業者講習を開催しました。

協議会ではサポートジャケットM、L、LLの3着を無償で町民に貸し出します。借りたい方は協議会までご連絡ください。

(お問合せ)中泊町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会事務局
TEL 080-1664-6641

漁業と触れ合う

令和6年度“さかなと海”ふれあい体験学習

6月21日(金)から7月5日(金)にかけて、中泊活ハマクラブ主催で管内小学校、中学校の児童及び生徒を対象とした「“さかなと海”ふれあい体験学習」が実施されました。

「“さかなと海”ふれあい体験学習」は令和元年に始まり、今年で6回目の開催となり、各小学校の児童たちは、海の生き物や漁業の学習、釣り体験などをおして、町の基幹産業である漁業についてたくさんのお話を学んでいました。

また、6月27日(木)、28日(金)に中里中学校の2年生、7月5日(金)には小泊中学校の2年生が下前漁協婦人部講師のもと、メバルの調理に挑戦しました。

ほとんどの生徒が魚をさばいた経験がないなかで、苦戦しながらも自分で調理したメバルの煮付けや刺身に大変満足していました。



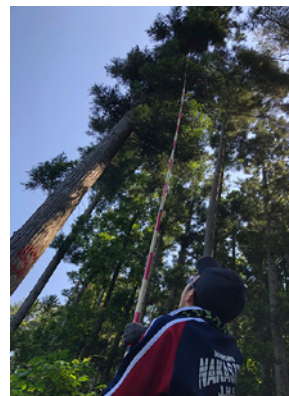
森林はなぜ必要なのか

中里中2年生があすなろ自遊モリ森体験

津 軽森林管理署金木支署と中里中学校で実施する「あすなろ自遊モリ森・森林教室・下刈り・補植・測樹体験」が7月2日(火)に開催され、町長が視察に訪れました。

今年度2回目となるこの体験学習では、中里中2年生が参加し、森林の管理作業や補植、樹高の計測を体験しました。

また、この体験学習をとおして、森林が持つ水の循環機能や水源涵養機能など、重要な役割も学びました。



不法投棄監視員として長年の尽力

小野清秋さんが環境保全功労者表彰



小 野清秋さんが環境保全功労者表彰を受けたことを報告に7月2日(火)に町長のもとを訪れました。

この表彰は、環境省が毎年6月の環境月間に合わせて、環境保全や環境美化に貢献した全国の個人および団体に対し表彰するものです。

小野さんは、青森県廃棄物不法投棄監視員として、長きにわたり不法投棄事案の早期解決などに寄与するなど、地域の環境保全活動の推進に大き

く貢献したことが認められ、環境保全功労者表彰を受けました。

町長は「不当投棄をなくすために長年尽力していただき感謝。一人一人が捨ててはいけないという気持ちを持たないとゴミは減らない」と話しました。

「風」の力で活性化の第一歩に

中泊風力発電所竣工式が行われる

津 軽パワー株式会社(親会社 日本風力開発株式会社)が田茂木地区に建設した「中泊風力発電所」が完成し、7月17日(水)に竣工式が行われました。

竣工式には関係者約30人が出席し、町長は「町内にある風力発電30基をうまく使いながら、ゼロカーボンシティ宣言に恥じないまちづくりをしていきたい」と話しました。

